

2015年4月13日、ANAインターコンチネンタルホテル



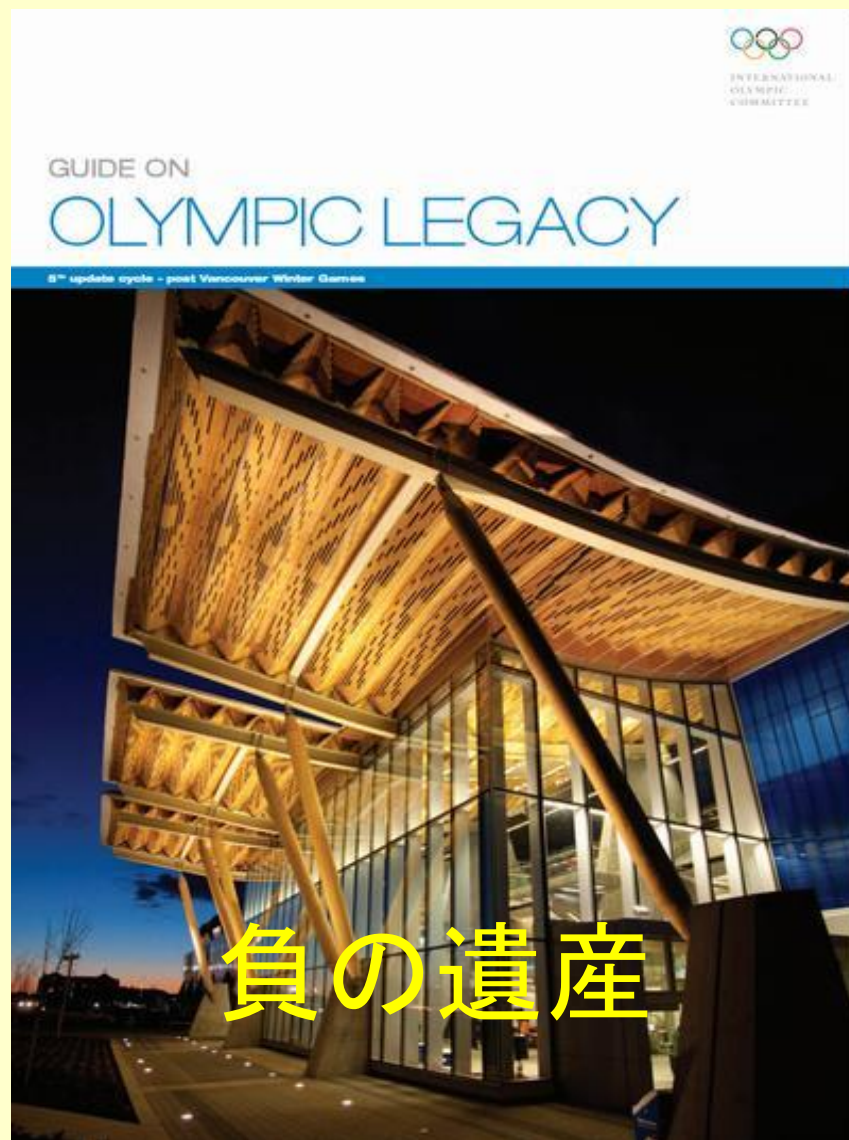
2020年東京オリンピック・パラリンピック 大会を見据えたスポーツ政策の 理念的モデルの検討

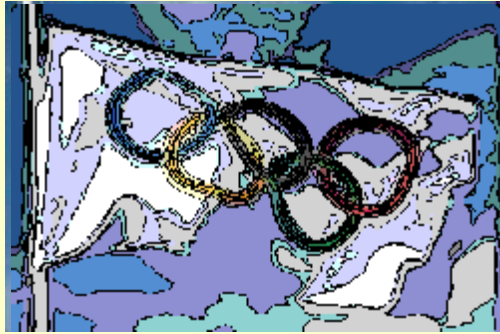
IOC会長辞任直後のピエール・ド・
クーベルタンによる教育改革の分析を通して

和田浩一(フェリス女学院大学)、荒牧亜衣(筑波大学)



転換期のオリンピック





レガシー

万国教育連盟



1892

1925

1929

1936



誤解

破壊する 不満と敵意

政策

理念

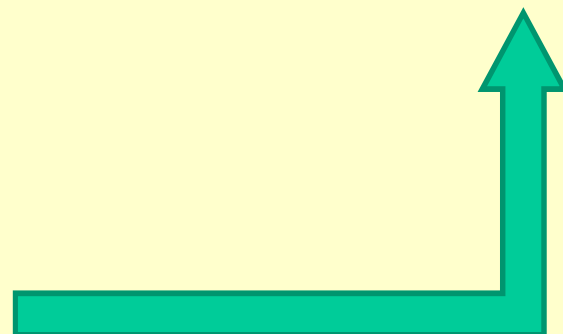
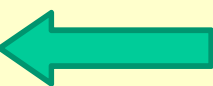
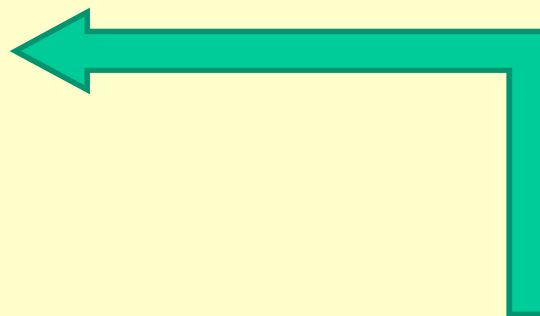
← 社会的問題の解決・回避

計画

実施

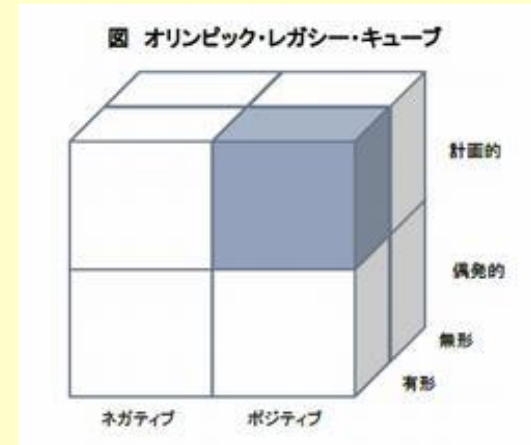
評価

フィードバック



1. レガシーの概念

→ 整理



2. クーベルタンによる教育改革の内容

→ 『万国教育連盟報』

3. 日本のスポーツ政策の

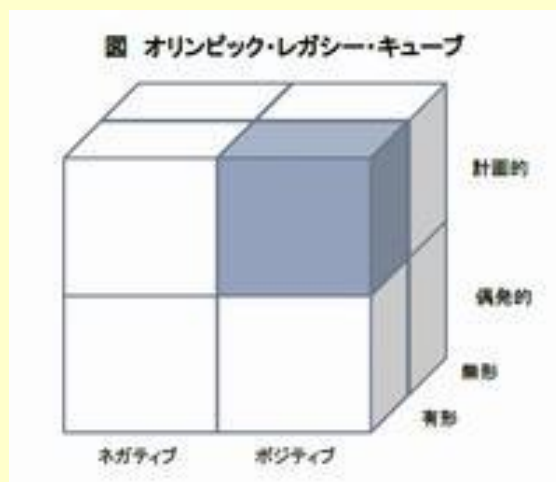
理念的モデル



IOC



キューブ



*Philosophy
&
History*

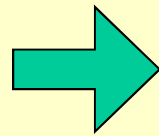
他分野

TPPの合意を2期目の「レガシー（遺産）」にしたいオバマ氏にとって、「年内合意」はギリギリのタイミングだ。交渉が来年



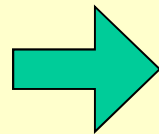
世界平和の構築

フランス
(学校教育界)



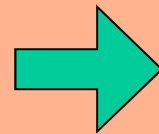
学生スポーツの
組織化

国際社会
(スポーツ界)



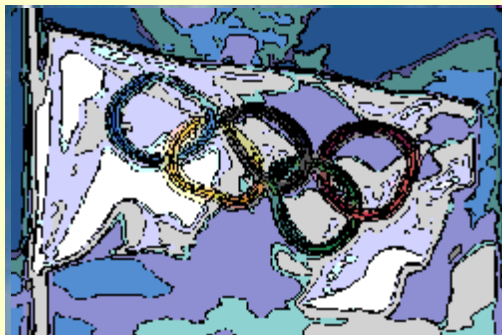
オリンピックの復興

人類・民衆
(社会教育界)

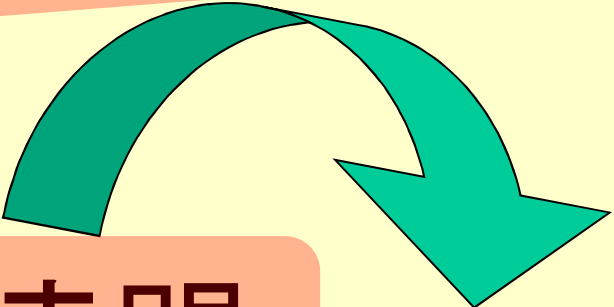


スポーツの大衆化





レガシー



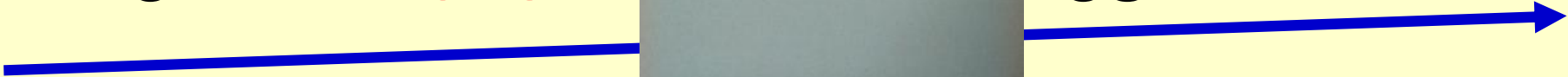
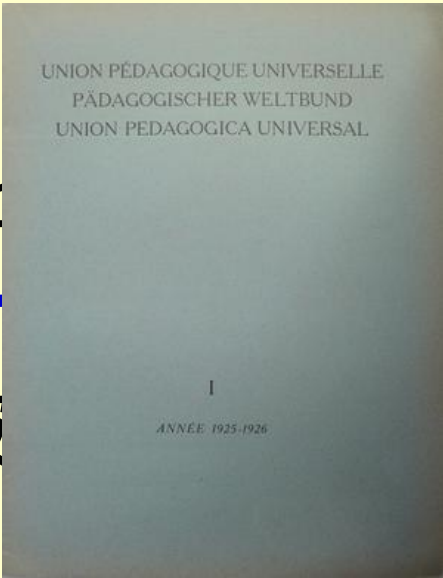
万国教育連盟



1892

1925

1936



誤解

破

満と敵意

『万国教育連盟報』第1号 1925-26

1. ラジオメッセージ

上空を**飛**べばよい

2. 基本憲章

全体的知識を考慮する

3. 十本のたいまつ

社会の**平和**が保証される



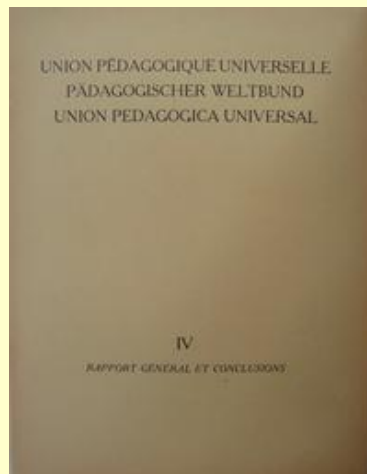
知の飛翔



全体を俯瞰する力

I. 教育改革

- 新しい教育原理の基礎
- 基礎知識
- 言語の問題
- 批判的思考
- 初等教育への影響



II. 現代都市の教育的役割

- 大衆大学
- 「間欠性」の原則
- 図書館の制度
- 古代体育施設のリノベーション
- 都市によるスポーツへの援助
- 週末の労働者
- 美のメカニズム

新しい 教育原理の基礎

基礎知識

1) 一般教養

- **すべての人**が学べる
- 人生を通じた学び

2) 専門化教育

- 早期 ×
- **全体**を考慮

十本のたいまつ

- 天文学、地質学、
歴史学、生物学
- 数学、美学、哲学
- 経済学、法学、
民俗学と言語学

- 職業に就く前の時期に、すべての人が継承し、自らもその責を負うことになる**人類の資産**について共有することが大切 (p. 6)。
- 人類の歴史全体の予備知識を欠いた**断片的**な歴史教育は不毛。なぜなら、**限定的**な時空の尺度でものを見る習慣がついてしまうと、そこから抜け出せないから (p. 11)。
- 人類誰もが自らの **無知** を認識せずに、自己に満足しながら自らの論理に基づいて突き進んできた (p. 8)。



1. 世界の紛争の種は他国への**無知**や誤解、偏見から生まれる。
2. したがって、世界の人々との**相互理解**を深めることが重要である。
3. 近代オリンピックは、国際的な**相互理解**を進める有力な制度である。(1896)



《無知》



《オリンピック大会》 のレガシー

- ① オリンピズム
- ② 哲学と歴史

万国教育連盟

- ③ まとめ
- ④ 「無知」の克服



知の飛翔